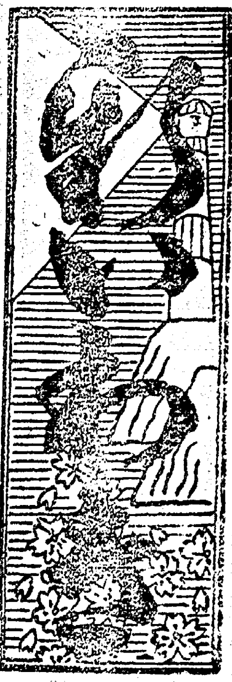
一月十八日夕刊



日刊（但シ日曜祭日翌日休刊）一ケ月廿五錢 郵税十五錢 一部二錢 廣告料 一行四十錢
發行所 福島縣平町大町二三 新いわき新聞社

常識講座

アート・フオア・アートは藝術至上主義のことだ、藝術の爲めの藝術を說くもの之れを藝術派と云ふ、これに對し人生の爲めの藝術派を人生派（アート・フオア・ライフと呼ぶ）

問題の滿場一致を

削除されたる白紙還元
陳情書に市役所の訂正
昨十七日付公文で本社に請求
危ぶなかつた委員上京の前夕

平市外江名、豊間、高久の三ヶ町村が同盟する奔走で平小鐵道片濱線の實現に猛運動中であるものに對し市民多數の志望と一致しない平市會が一昨十二年十月謂所白紙還元運動委員なるものを以て當時の内田鐵相により湯本から小名濱に敷く磐城炭礦軌道を十二万圓で買收する「湯小線」に略ぼ決定せるを望むものと同様である

路線の希望を述べぬ唯單に鐵道の決定に異議なきを以て速かに施行されたしとの陳情（前記の如く湯小線に決せんとする瀬戸際にあるものを特に鐵道の決定に異議なきを附言した）をなしたる一黨が、

今回また〳〵片濱線の運動に横槍的な白紙還元の陳情を再び敢てするの擧に出で而かも所記一昨年十二年に於ける市會の白紙還元決定が當時理事者の提案を讓了するに近づき片濱線を希望する議員數氏が事故の爲め退場せる最終に當つて動議を起したる結果が居殘る片濱主張者との間に猛烈な論爭の末關所一味一黨が辛ふじて作り上げた「湯本小名線」を同意するものに等しい白紙還元の陳情書なるものを再利用して去る十六日舊態の委員を携へ上京するに當り

平市會は昭和十二年十月六日の市會に於て滿場一致路線の選定は一切鐵道省の御決定に異議なき事に決議したる云々、

の陳情書に青沼市長の名を頭書し次へで野崎議長、渡沼副議長、外五委員の名を連ねて書記中の十五日午後端なくも片濱線の實現に猛運動中で市內有士に發覺し市當局との間に一と波亂を起して同陳情書中の滿場一致を削除されたことは去る十六日の本紙上に報導せる如くであつて所記の如く改作された陳情書即ち湯本小名濱線の實現を援助するのと同じい運動をば、

片濱線志望の地方人大多數が本縣海洋漁業興隆のため其の結果として平市を幸福するものに或は自費を投じ或は有志者の寄附により大叢べの活動裡にあるものと反對し其の比較對照に於て地方永遠の福祉の策ではなく平市の幸福でもない、湯小線の陳情に何を好んで市費を投げ（今回の白紙還元運動の上京に約二百圓）づゝ狂奔せねばならぬかを憫みとされてゐる全市民の聲を報じたのであるが平市役所からも昨十七日付公文を以て左記掲載方の請求があつたので茲に其の全文を掲げる、

昭和十四年一月十七日　福島縣平市役所㊞

新いわき新聞社御中

貴社發行一月十六日夕刊新いわき第二千五百二十七號記事左の點相違に付訂正相成度候也

平小鐵道工事促進陳情書中「平市會は昭和十二年十月六日の市會に於て路線の選定は一切鐵道省の御決定に異議無き事に決議し陳情委員を選定し」とあるは「平市會は昭和十二年十月六日の市會に於ける決議に基き委員を選定し」と訂正

片濱要望 陳情報告演說會
湯小線排擊に聽衆の共鳴

平小鐵片濱線實現陳情に上京した大嶺庫、多田井笑次郎兩市議の報告演說會は昨十七日午後七時から市內マルトモ樓上に開催した聽衆は會場の關狹から市內各行政區長を大多數とする約五十名に過ぎなかつたが前記兩氏及び同じく陳情團に加はつた柴田德二氏の何れも片濱線の要望に謀反的な湯小線を排擊する徹底的な事實と地方百年の大計には片濱線であらねばならぬ理由を詳述し聽くものをして眞に其の要を肯かしめ午後十時過ぎ閉會した

銃後の整體に處し
長倉主婦會を結成
『命をすてゝも戰ふ兵士』何をすてゝも護りませう

石城郡磐崎村の長倉關係主婦は戰線に活躍する勇士の苦を想へば此の際一層眞劍な覺悟があらねばならぬと最近主婦の會を結成し「家は朗らかに正しく強く、仕事大切で御奉公」「命をすてゝも戰ふ兵士、何をすてゝも護りませう」との標語をスローガンに同地居住者の親睦、保健衛生は勿論、防空、防火、愛婦國婦の擴大強化から子女の發育に一丸となつて銃後の完璧を期すべく申合せをなした

新農務課長視察

新任の本縣農務課長伊藤彦武氏は明十九日石城に來郡し平市役所及び郡團体事務所並びに縣農試石城分場等の視察をなすと

白紙還元の陳情 一夜泊で歸平

去る十六日上京した平小鐵白紙還元の陳情委員一行は當日鐵道省を訪へるも鐵相に會せず秘書官から其の陳情は一昨日來たものと同一であらう本日は急用があるからと云はれて退き下り建設局を訪ねた後東京一泊マルビル本縣物產陳列所にあると聞えた君島知事及び經濟部長にも陳情十七日歸平したが同一行に加はつた鈴木光吉氏は建設局の訪問後中途から一同に別れて歸平す

古鍛冶青年團の慰問資金造成

平市古鍛冶町青年團では區內出身勇士の前線に慰問袋を送るべく其の資金造成のため來る二十日各戶に廢品回收の運動をなすと

入遠野村で銃後資金寄附
千圓目標の募集

石城郡入遠野村では村を擧げて銃後會の後援に努めてゐるが同會の活動に對する資金造成に村內有志の寄附募集を協議し金一千圓を目標として來る二十日から同寄附募集を開始すると

廿日の店員公休 講演と映画會
市公會堂にて

平商工會では來る二十日の定期店員休養日に於て市公會堂に講演と映畫の夕を開催し店員の慰安と修養に當てる筈だが講師は本田平署長である

吾等の任務は是からが重い
平市長橋町出身　森清一郎

御無沙汰致し失禮仕りました、空には雁が飛び紅葉日に色どられ寒さ日に增り冬漸く近づいて參りました、皆々樣にはます〳〵御繁榮慶賀の至りで御座います、小生出征以來僅か一ケ年餘月にして平市は縣下四都市に劣らぬ整備を進められてゐる由、承りて喜びに堪えません、吾れ等は徐州陷落後の去る八月（昨年）漢口攻擊に行動を起し支那の險山大別山脈にて一ケ月余の激戰をなしたるも見事これを激退して〇城に入城したる時漢口方面も遂に落城したので兩者の万歲天に燕くばかり此の一段落後〇城にて警備かた〳〵休養中で御座います、後日詳しき戰況を申上げますが、漢口も陷落し一段落を見たる樣なものゝ吾れ等の任務はこれからが益々重く決して油斷はなりません、聖戰は徹底的支那膺懲に進められ南洋平和確立の日が來るまでは一歩も退くものでないと存じます、其れまでは滅死奉公皆々樣の御期待に添ふべく微力を盡し御厚情に酬ゆる覺悟でございます、留守中は一方ならぬ御後援を賜はり有難く厚く御禮申上げます亂筆不文ながらこれにて失禮いたします、早々

磐崎女青と小女 生の遺家族慰安

石城郡磐崎村の女子青年團馬玉分團長佐藤ぶじ子さん以下團員一同と小學女生吉田きみ子さん外十七名は去る五日出征遺家族慰安と敬老會を兼ね關係者一同を招ぎ愉快な一日を送らせたが同費用は右の一同が稲刈をやつて得たる賃銀を當てたもので殘りの六圓を一昨十六日國防献金した

愛婦會員三名の田耕報國

石城郡磐崎村の愛國婦人會員吉田しげさん、吉田ちよのさん、國井たみさん三名は今次の事變に赤誠を捧ぐべく共同で田を耕して得た益金で第一線に對する慰問袋や愛國公債購入をなした上殘る十圓を國防献金した

半島人の赤誠

石城郡泉村の瀧尻古物商高田秀雄こと半島人金柄基（四三）さんは今次の事變に出征勇士の歡送迎を缺かしたことがなく銃後の運動にも多幅の力を注いでゐるが昨年末の納稅組合積立金の決算に剩つた金二十一圓を此の程同村銃後會に寄附したので更に村民を感激させてゐる

小學兒童に參詣

石城郡上遠野村小學校では各兒童に郷社八幡神社への參詣を行はしめ皇軍の武運長久祈願と敬神崇祖觀念涵養に盡してゐるが此の程から兒童交代を以て朝の參拜をなさしめてゐると

會旗の樹立式
長倉坑親和會で

磐崎村長倉坑の親和會では今回會旗を調製昨十七日樹立式を擧げた

土工の轉落即死

石城郡赤井村の大平居住土工遠藤利一（四二）は去る十六日夜泥醉して同村字常住地內日曹炭鑛專用軌道棧橋を通行中誤つて轉落頭部を強打して即死

賭博

小名濱町字松の中居住の仲仕黑田哲夫（二四）と會田一郎（三三）金近茂次（三五）三名は昨十七日近所の某宅で現金賭けの花札合戰中平署員に踏込まれて檢擧さる

厩舍と馬を燒く

石城郡上遠野村の平子政吉方から去る十六日午後六時頃發火し厩舍一棟と馬一頭を燒いて鎮火した損害は八百七十五圓原因は風呂場の火の不仕末からである

兒を置去る女房

石城郡金鄕村の白水磐城炭礦綴坑々夫棚谷正市（三三）は去る十二日午後二時頃栃木縣鹽谷郡常入村生れの內縁の妻中山きよ（三三）に生後三十一日の長女靜代を置き去り家出されたので其の日暮しの身に乳のみ兒を抱えて途方に暮れ昨十七日平署に妻は實家に戻つてゐるらしいと搜索方を願出た

新興ダイヤペン付
ウエル萬年筆
一、五〇以上
商工省主催『代用品工業振興展覽會』出品申込の各種代用品一萬數千點中萬年筆としてはウエルたゞ一點嚴重なる鑑査に合格したる新興國策製品
代理店 魁文堂 電話三一三

産業面

榮養增進に 山羊の乳 (上)

學校に於ては高等科生徒が採乳から消毒その他一切の處理を行つてゐるが昨年四月十八日より八月三十日までの兒童の給乳狀況は採乳二石九斗で給乳は延人員二千三百四十名、一人當り一日飲用量八勺强となつてゐる、泉野村の小學校長藤森省吾、農業擔任の教師杉山乙の兩氏の語るところを上げると次の通りである

未だ兒童の榮養增進狀況を專門的に調べてをりませんが兒童の血色はよくなり相當効果のあるやうに思はれます、二年生以上にも與へてはどうかと云はれますが自分の村では乳は餘る位あり一年生にまづ飲むことを敎へ込めばあとは自分の家の乳を喜んで飲むやうになりますので其の必要がないと思ひます、現在三軒に一頭の割合ですがこれですら飼育家庭だけでは飲みきれず隣近所へ分配してゐる狀態です、晝中休暇中でも兒童は山羊の手入れに來る有樣です、山間地の榮養家畜としては雛かに山羊は有望と思ひます、

また右について農林省畜產課の語るものも山羊乳の榮養價は母乳に近く乳幼兒、學童に適するもので近年乳幼兒の死亡率が高い際生產費の安い飼育の簡單な山羊乳を小學校が率先して飼育の奬勵にあたり兒童に飲用させることは榮養補給に困難な山村兒童の榮養增進のため誠に結構なことです(完)

藤沼醫院
七〇五電　平市紺屋町

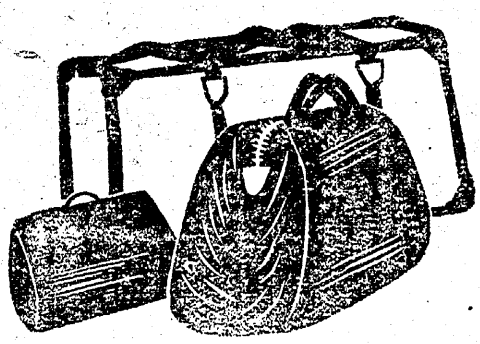
スペインG・H・N 元詰
ゴルフポートワイン
甘味葡萄酒　1・20
病弱人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です
(平2)　西村屋藥舗　(電3)

肺炎・肺膜炎・肺結核・喘息・肺門腺炎・氣管支炎・氣管支喘息・中耳炎・神經痛・腰痛・リウマチ・疲勞恢復・打身・くじき・ルンバゴ・淋疾・婦人病
價　四〇瓦入　五十錢　八〇瓦入　九十五錢　二四〇瓦入　二圓十七錢　四八〇瓦入　四圓
平市　五丁目角
山野邊藥局

和洋銅鐵、金物問屋
火
釜屋商店
電九九・九九

產婦人科　院長　木村寅次郎
外科　醫學博士　內木宗八
藥局　藥劑師　大岩俊雄
平市新川町九一　入院隨意　病室完備
木村病院
電話一六四番

病室增築、手術室完備
產婦人科　醫學博士　五十嵐雄二
平市新川町「電話三六九番」

カバンと洋品類

(平)新道通り　(電六話五)　眞砂屋

便利で經濟な　日下家政婦會の　派出婦を御利用下さいませ
身元確かで品行方正ですから何をお任せしてもご安心です
平市白銀町十番地
日下家政婦會
會長　日下すい子
電話七二三番
會員(同志)の御加入を御誘ひ致します　派出なき閑暇に裁縫や編物を御敎授致します

大河內
平市搔揖小路
整形外科醫院
電話五八八番

新時代の要求
附屬事業に等外看護婦を特設いたし皆樣の御用向へ身元確實なる婦人を派出致します、
平市南町　電三〇七
平看護婦會
會長　清野キヨ
御手不足の御家庭　御病人の付添　御家庭
經濟的な御便宜御用命をお願ひ致します

內科、小兒科　外科、花柳病科　耳鼻咽喉科　レントゲン科
平市田町　電話五一三番
高久病院
院長　醫學士　高久忠

平病院
(平市元共濟病院跡　電話六四一番)
院主　醫學博士　院長　鈴木定藏
內科　院長　鈴木定藏
小兒科
內臟外科　一般外科　皮膚泌尿器科　副院長　高橋俊幸
レントゲン科　物理的療法科　院長　鈴木定藏
藥劑科　部長　吉本孝平
診療時間……毎日午前八時より午後九時まで夜間診療に從事す(急患は此の限にあらず)

安田系統の帝國海上
帝國海上火災保險株式會社
平代理店　關內正一
平町二丁目　電話一六番
事務取扱者　阿部助次郎

一般印刷物も御引受致します
新いわき新聞社